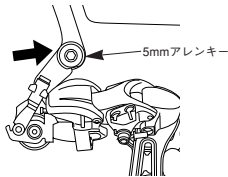


リアディレイラーの調整方法

RD-TX75/RD-TX55/RD-TX35

リアディレイラーの取付け

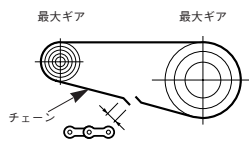
押さえ付けて締め付けてください。



締め付けトルク:
8 - 10 N・m (80 - 100 kgf・cm)

チェーンの長さ

フロント、リア共に最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。



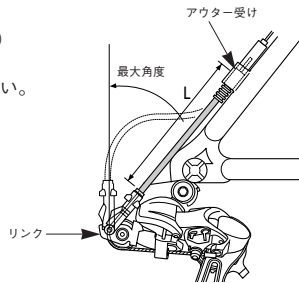
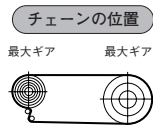
ケーブルの固定とストローク調整

アウターケーブルが荷台、泥よけのステーにあたらないようにしてください。変速機能に支障をきたす場合があります。

RD-TX75/RD-TX55のアウターケーブルの長さは下記のようにセットしてください。

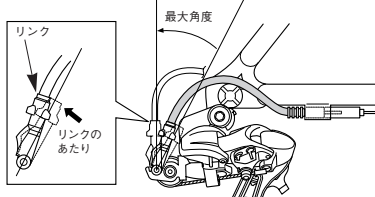
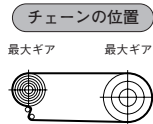
● 上廻しの場合

(チェーンの位置はフロント、リア共に最大ギア)
図の様にアウターケーブルをアウター受けとリンクに差し込んだ寸法に10mm加えてください。

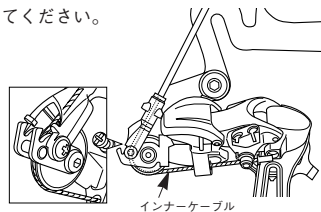


● 下廻しの場合

(チェーンの位置はフロント、リア共に最大ギア)
アウターケーブルの長さは、アウターケーブルがスムーズなアールになるように、リンクがリンクの“あたり”からすこしはなれるような位置に設定してください。



図のようにインナーケーブルを変速機に取付けてください。



この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

* 取扱い説明書は下記にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>
製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

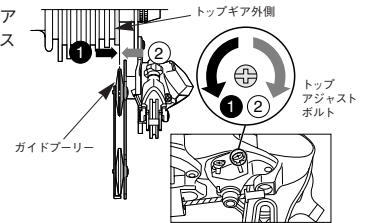


お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577

1. トップ側の調整

後方から見て、ガイドブリーがトップギアの外側の線の上にくるようにトップアジャストボルトを回して調整してください。



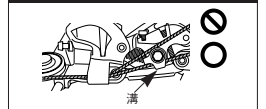
2. インナーケーブルの取付けと固定

インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおします。インナーケーブルはプライヤーで5 - 10kgの力で引っ張って固定してください。

締め付けトルク:
5 - 7 N・m (50 - 70 kgf・cm)

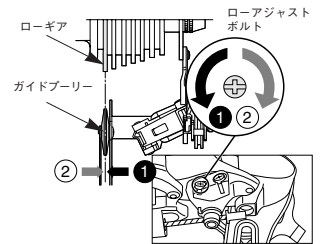


注意: インナーケーブルは必ず溝に添わせて固定してください。



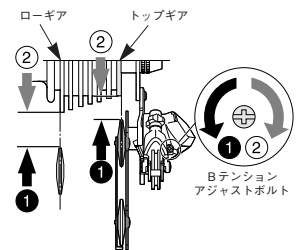
3. ロー側の調整

ガイドブリーがローギアの真下にくるように、ローアジャストボルトを回して調整してください。



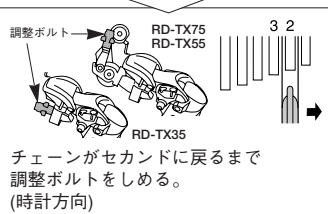
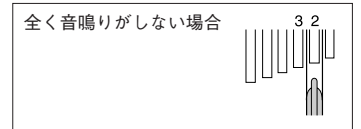
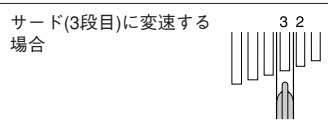
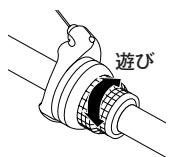
4. Bテンションアジャストボルトの調整

チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットし、クランクを逆に回します。チェーンつまりしない位置までガイドブリーがギアに近づくようにBテンションアジャストボルトを回して調整します。次にフリーホイールを最小ギアにセットして同様に、チェーンつまりがしないことを確認してください。

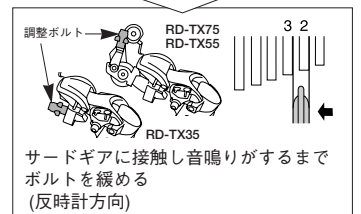


SISの調整

シフティングレバーを1回操作して、リアギアを2段目に变速させます。その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを回転させます。



チェーンがセカンドに戻るまで調整ボルトをしめる。(時計方向)

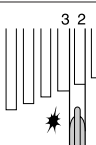


サードギアに接触し音鳴りがするまでボルトを緩める(反時計方向)

ベストセッティング

シフティングレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンがサードギアに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。

★レバーをもとの位置に戻し(レバーはセカンドの位置でレバーから指を離れた状態)、クランクを回転させてください。サードギアと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締めて(時計方向)、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。



SISの機能を十分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。